



主催：岩漁業協同組合 / 横浜国立大学臨海環境センター
協力：神奈川県水産技術センター / 岩ダイビングセンター / 真鶴町立遠藤貝類博物館
特定非営利活動法人ディスカバーブルー

MOBA Science Project

～みんなで考える真鶴の海～

“海藻の種まき”イベント

いっしょに
活動する
仲間を募集

日時：2026. 9.13 (日) 9:30~12:30
場所：横浜国立大学臨海環境センター

予備日 9.19 (土)

※安全な実施を最優先とするため
海況に応じて予備日に延期する
場合があります。



真鶴の海に“海藻の種”をまこう！

真鶴の海では海藻が減る磯焼けが続いています。海藻の森は生き物のすみかやえさになる大切な場所です。MOBA Science Projectは横浜国立大学臨海環境センターが地域の皆さんと一緒に真鶴の海より良い未来を考えるプロジェクトです。今回はカジメという海藻が入った網袋を海底に設置し胞子（海藻の種）を周囲にまくことで海藻の森の回復に住民、漁師、研究者の協働で挑みます！



当日のながれ



臨海環境センター集合、海藻について学習

岩漁港に移動、スポアバッグづくり体験

実習船に乗り、スポアバッグの投入体験

まとめ・解散



生分解性スポアバッグってなに？

生分解性の穴があいた袋に、成熟したカジメ（海藻）を入れたものです。
カジメが胞子（種）を周囲に飛ばし、やがて海底から海藻の芽が生えます。

生分解性って？

時間がたつと自然の中で分解されるので、回収の必要がありません。



① 生分解性の袋に成熟したカジメを入れます

② 海の中に設置すると、カジメが胞子（種）を周囲に飛ばします

③ 胞子（種）が海底の岩などに付きます

④ やがて海底から海藻の芽が生え、成長していきます



参加対象・お申し込み方法

対象

小学生以上 20名程度
（小学生は保護者同伴）

参加
無料

ご参加には事前申し込みが必要です。

参加者全員の氏名、年齢、当日の連絡先を下記の方法でお申し込みください。申し込みは先着順で定員に達し次第終了いたします。小学生は必ず保護者同伴でご参加ください。

右のQRコードか、以下のフォームからアクセスし、お申し込みください。
(<https://x.gd/mEDHE>)

お問い合わせ

横浜国立大学 地域連携推進機構 臨海環境センター
〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩61

Tel: 0465-68-0055

e-mail: takayama-yoshiki-fb@ynu.ac.jp



ご参加のみなさまへ

- ・ 海況荒天時は乗船体験を中止し、室内でのプログラムに変更させていただくことがあります。
- ・ 船酔い止め薬の準備をお願いします。
- ・ 小雨決行、雨具の用意をお願いします。



MOBAを紹介する海藻の成長日誌: ↑

大学の
研究・実習船
に乗りよう!

